

Mendall (Laureano Serres)

メンダル (ラウレアーノ・セレス)

地域： Tarragona タラゴナ

オーナー： Laureano Serres ラウレアーノ・セレス

地区、村： El Pinell de Brai エル・ピネル・デ・ブライ

HP：なし



ワイナリーについて：

スペイン・カタルーニャのナチュラル・ワインムーブメントを語る上では欠かせない、ラウレアーノ・セレス。かつては Cave Cooperative De Pinel（ピネル協同組合醸造所）の代表として仕事をし、彼の地域のワインの味わいが本来どういうものなのかということ躍起になって求めた。そして 1999 年に協同組合醸造所から脱退、自分のワイナリーを立ち上げる。2006 年頃に催された“LA REMISE”（ラ・ルミーズ）というヴァン・ナチュールの試飲会でティエリー・ピュズラなど、多くのヴィニキュロンと友人となり、親交を深めていく。そして 2011 年からは、カタルーニャの生産者たちを巻き込んでの試飲会も企画・運営している。ラウレアーノが畑を持つ、テーラ（土地）・アルタ（高い）はカタルーニャ州の南の端に位置しており、名前の通り標高が高い、中央台地（メセタ）に差し掛かる地域である。気温は涼しく、昼夜を問わず風が吹いているので、同じカタルーニャのワインでも、海に近い地域のワインに比べ、収穫時期も遅く、果実が過度な凝縮をすることがない。元々は、同じ村内の協同組合で働いていたラウレアーノだが、大量生産、無個性のワインを彼が造り続けられるはずもなく、亜硫酸無添加のワインを自宅兼ワイナリーで造り始める。ステンレスタンクとティナハが所狭しと並ぶ小さな醸造所だが、ワインは抑えても抑えきれないラウレアーノとカタルーニャのエネルギーを体現している。

ドメーヌ名について

Mendall 名称の由来は、ラウレアーノの母親が子供時代に住んでいた家の名前（正式には Ca Mendall または Casa Mendall)とのこと。現在は立て替えられ、醸造施設兼、自宅となっている。ラウレアーノの住む地域では家に名前をつける伝統があり、苗字やミドルネームではない。母親への敬意を表すため、Mendall をワインボトルのロゴに起用し、それは、彼にとって家の名前に留まらず、先祖代々受け継がれてきた、特別な意味があるものだ。母方の家族から受け継がれ、現在ではワイナリー名として、記憶に残っていく。

自社栽培ブドウ品種： マカベオ、ガルナッチャ・ティンタ/ブランカ、カリニエナ、カベルネ・ソーヴィニヨン、テンブラニーリヨ